

フェアプライスプロジェクト周知活動

合理的な価格形成の理解醸成のため、今年度は、鳥取県・JAグループ鳥取との連携を強化し、イベントに共同出展するなど、フェアプライスプロジェクトの周知活動を拡充。

○ 施策分類

その他（新事業・食品産業）

○ きっかけ・背景、課題の把握

令和6年度から消費者へ合理的な価格形成についての理解醸成のため、フェアプライスプロジェクトの周知活動を実施。鳥取県・JAグループ鳥取も重要な課題として認識し、それぞれの取組を実施していた。

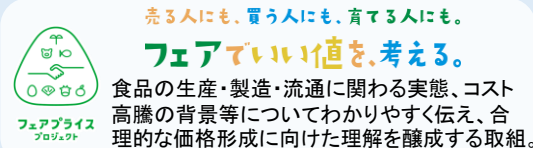
令和7年度は、3者合同で打合せを行い、各機関の取組状況を共有するとともに、連携した取組を強化することとした。特に鳥取県とは、イベントの共同ブースでフェアプライスプロジェクトを周知した。

○ 取組の内容

JAグループ主催のイベントに3回参加（8月に1回、10月に2回）。パネル展示、動画上映、ぬりえやチラシの配布の他、10月のイベントでは、チラシにQRコードを貼付して、Formsを活用したアンケートを実施。アンケートでは、食品の適正価格の考え方や、鳥取県の取組「フェアいい信じ」、JAグループの「国消国産」、農林水産省の「フェアプライスプロジェクト」の認知度について回答を得た。その他、フェアプライスプロジェクトのチラシを県内道の駅に配布した。

○ 効果・成果、今後の方向性

イベントでのアンケート結果は、2日間で103件の回答があり、「フェアプライスプロジェクト」の認知度は全体の14%、「国消国産」が58%、「フェアいい信じ」が8%となった。引き続き、消費者への理解醸成のため、県・JAグループ鳥取と連携を強化していく。



共同ブースの様子



アンケート付チラシ

体制図

